

主要行等の令和3年9月期決算の概要

1. 損益の状況（グループ連結ベース）

- 令和3年9月期は、前年同期に新型コロナウイルス感染症の影響で増加した与信関係費用の反動減を主因に、当期純利益は前年同期比76.7%の増益。

（単位：億円）

	R1年9月期	R2年9月期	R3年9月期	前年同期比
業務粗利益	52,391	53,512	53,822	310
資金利益	23,233	24,339	26,168	1,829
役務取引等利益	16,729	16,272	18,221	1,949
その他業務利益	6,019	5,330	2,928	▲2,402
うち債券等関係損益*	3,996	3,700	1,264	▲2,437
経費	▲33,904	▲33,454	▲34,147	▲692
業務純益	18,808	20,388	20,127	▲261
コア業務純益*	8,041	8,795	10,816	2,021
コア業務純益*（除く投資信託解約損益）	8,029	8,749	10,169	1,420
与信関係費用**	▲1,203	▲5,826	▲763	5,062
株式等関係損益	1,505	86	2,283	2,197
親会社株主に帰属する当期純利益	15,580	10,514	18,577	8,063

*債券等関係損益、コア業務純益については銀行単体ベース。**与信関係費用について、正の値は益を、負の値は損を表す。

（参考）	R1年9月末	R2年9月末	R3年9月末
貸出金（末残）***	304.4兆円	319.7兆円	313.5兆円

***貸出金は銀行単体ベースの銀行勘定計。

2. 不良債権の状況（銀行単体ベース）

- 不良債権残高は令和3年3月末に比べ減少、不良債権比率は低下。

	R2年9月末	R3年3月末	R3年9月末
不良債権残高	2.3兆円	2.6兆円	2.5兆円
不良債権比率	0.67%	0.75%	0.73%

3. 自己資本比率の状況（グループ連結ベース）

- 国際統一基準行の総自己資本比率、Tier1比率、普通株式等Tier1比率は、令和3年3月末に比べ上昇。
- 国内基準行の自己資本比率は、令和3年3月末に比べ上昇。

（国際統一基準行：4グループ）

（国内基準行：3グループ）

	R3年3月末	R3年9月末
総自己資本比率	16.98%	17.53%
Tier1比率	14.78%	15.40%
普通株式等Tier1比率	13.05%	13.67%

	R3年3月末	R3年9月末
自己資本比率	11.43%	11.66%

（注1）記載金額・比率は、四捨五入して表示。

（注2）グループ連結ベースは、みずほFG、三菱UFJFG、三井住友FG、三井住友トラストHD（以上、国際統一基準行）、りそなHD、新生銀行、あおぞら銀行（以上、国内基準行）を対象とする。

（注3）銀行単体ベースは、みずほ銀行、三菱UFJ銀行、三井住友銀行、りそな銀行、三菱UFJ信託銀行、みずほ信託銀行、三井住友信託銀行、新生銀行、あおぞら銀行を対象とする。

（注4）各グループ公表資料等より、金融庁作成（公表数値の定義はグループにより異なる場合がある）。